

ボランティア活動4つの原則

Volo：志願者

(ウォロ：ラテン語)



Voluntas：意志・善意

(ウォランタス：ラテン語)



Volonte：喜び・精神

(ボランテ：フランス語)



Volunteer

(ボランティア：英語)

ボランティアの由来

自分の意思で喜んで行う活動

【自分からすすんで行動する】

ボランティア活動は、自分自身の考えによって始める活動であって、だれかに強制されたり、また、義務として行わせたりする活動ではありません。

友人から誘われたり、あるいは、学校や会社の行事として参加したり、テレビや新聞で見かけたりなど、どんな小さなきっかけでも、自分自身の「やってみよう」という気持ちを大切にすることから、ボランティア活動がはじまります。

主体性

【ともに支え合い、学び合う】

わたしたちの社会には、さまざま課題が存在します。

こうした課題を発見し、改善していくためには一人ひとりが考えることと、多くの人びとと協力しながら力を合わせて行動することが大切です。

社会性



【見返りを求めない】

ボランティア活動は、活動目的の達成によって、出会いや発見、感動、そして喜びといった精神的な報酬を得る活動であり、個人的な利益や報酬を第一の目的にした活動ではありません。報酬を得る仕事とは、大きく違う部分です。

ただし、交通費や食費、材料費などの実費弁償については、無償の範囲内と考えられています。

無償性

創造性
・
先駆性

【より良い社会をつくる】

目の前の課題に対して、何が必要なのか、そして、改善のためにはどうすればよいのか。ボランティア活動では、従来の考え方にとられることなく、自由な発想やアイデアを大切にしながら、方法やしくみを考え、創り出していくことが大切です。

個人の思い



ボランティア